

令和6年3月31日

保護者 様

熊本マリスト学園中学校・高等学校

校長 松山 秀峰

学校評価アンケートについて（ご報告）

陽春の候、保護者の皆様におかれましてはご清祥にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。学校におきましては、1月31日に高校卒業式、3月16日に中学卒業式を行いました。4年ぶりに、これまでと同じ時期に開催できましたことを嬉しく思います。保護者の皆様にも、生徒諸君の旅立つ姿を見て頂くことができました。生徒諸君の前途が洋々たるものであることを、関係者一同心から願っております。

さて、令和5年度「学校評価アンケート」につきましては、今回から携帯端末による回答方式に変更したため戸惑われた方もあったことと思います。入力の手間を一ヶ月延ばしたことで紙媒体の時と同程度の回答率になりました。ご協力ありがとうございました。回答の中身に目を転じますと、評価A・Bの割合が減じ、Cの割合が昨年より倍増しました。教育目標を達成すべく、各学年・各部が一年間の活動目標に沿った取組を推進してきましたが、厳しい評価を頂きましたことを真摯に受け止め、次年度に生かしたいと思っております。

今後とも本校教育へのご理解とご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

【表の見方】

肯定的評価（1・2）から否定的評価（3・4）を減じた数を表示し、その数の示す値を3段階に分類しました。A～Cに分類した各評価項目についてどのような視点で改善を施していくかを示しています。目安となる指数に基づいて教育活動の改善を図って参ります。

項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
中1	A	A	B	B	B	B	C	B	C	B	C	A	A	B
中2	A	A	A	A	A	B	B	B	A	A	B	B	A	B
中3	A	A	C	A	B	C	C	C	A	A	A	B	B	A
高1	A	B	B	B	B	B	C	B	B	A	B	B	B	B
高2	B	C	C	C	B	C	C	C	B	B	C	B	B	B
高3	A	B	C	B	B	C	C	C	A	A	C	B	B	C
全体	A	B	C	B	B	C	C	C	B	A	C	B	B	B

【参考】○令和2年度 中1～高3を総合したA～Cの割合・・・A-28.6% B-48.8% C-22.6%

○令和3年度 中1～高3を総合したA～Cの割合・・・A-44.1% B-47.8% C-11.1%

○令和4年度 中1～高3を総合したA～Cの割合・・・A-34.4% B-52.2% C-13.3%

○令和5年度 中1～高3を総合したA～Cの割合・・・A-28.6% B-46.4% C-25.0%

【項目別評価の分析】

〔1〕 マリストに子どもを進学させて良かったと思われませんか・・・A

昨年に引き続き A 評価をいただきました。昨年度に比べ、わずかではありますが肯定的評価が増えたのはありがたいことです。引き続き保護者の皆様の満足度が高まるような教育活動を推進して参ります。

〔2〕 学園は家族的愛のもと、社会に貢献できる人材の育成に力を入れていると思われませんか・・・B

昨年度に引き続き B 評価ですが、否定的印象を持たれている方が増加しました。教育の在り方や方向性が、ここ数年大きな変容を見せています。社会に貢献できる人材は、中高生時代の充実した経験が糧となって育まれていくと思います。生徒の良さを認め、褒め、励まし伸ばすという意識を全職員で共有して参ります。

〔3〕 学園は、学力向上を目指して、積極的に取り組んでいると思われませんか・・・C

昨年度から大きく評価を落としました。本校に学ぶ生徒と保護者様の共通の目標は、上級学校への進学です。将来を見据え、それぞれの学年でどのような知識を身に付けていかなければならないか、そのために我々教師はどのようなアプローチが必要なのか。抜本的に見直し実践していく必要を感じます。

〔4〕 教職員は、生徒の人的成長に真摯に取り組んでいると思われませんか・・・B

昨年度とほぼ同じ評価でした。キャリア教育をはじめとして、生徒の主体的活動を支援するプログラムを随時開発しています。失敗を恐れず、仲間と協働して様々なことにチャレンジしていく生徒を育成していきます。

〔5〕 教職員は、生徒や保護者の相談に適切に応じていると思われませんか・・・B

やや評価を落としました。二者面談・三者面談は行事予定にも組み込むなど力を入れているところですが、生徒や保護者様の要望にタイムリーに応えることのできる柔軟さも求められている評価だと思えます。聴く力を向上させるような研修も随時取り入れていきたいと思えます。

〔6〕 家庭学習用の課題は、その内容が適切であると思われませんか・・・C

評価が B から C になりました。また学年によって評価にバラツキがあるのも気になるところです。生徒達の学習意欲の高まりと課題がうまくマッチした時には、家庭学習の質も高まると思えます。そのために大切なのは授業の充実です。授業アンケートを見直しましたので、効果的な課題の与え方を教科や学年で引き続き検討して参ります。

〔7〕 家庭学習用の課題は、その量が適切であると思われますか・・・C

〔6〕 の評価に重なりますが、負担に感じるだけの課題では本当に必要な学力は身に付いていきません。主体的な学びにつながるような工夫を続けて参ります。

〔8〕 進路指導はわかりやすく適切であると思われますか・・・C

評価がBからCになりました。真摯に受け止める必要があります。志望校決定までのプロセスを丁寧に説明し、後悔のない進路選択をしてほしいと日頃から考えていますが、その過程を改めて検証して参ります。生徒の意欲を喚起するような丁寧な進路指導に努めて参ります。

〔9〕 生徒は校則や決まりを守っていると思われますか・・・B

スマートフォンが瞬く間に普及し、SNSによるトラブルが年々増加しています。機器の使い方については私達大人より生徒が遙かに詳しいのですが、情報モラルが身に付いていないためにトラブルに巻き込まれてしまうケースがほとんどです。一度発信された情報は消去することはできません。

服装などの目に見える校則違反はその都度指導していますが、情報モラルも目に見えるルールも含め、自分が周囲からどのように見られているかを意識することはとても大切です。その意識を向上させるような指導を継続していきます。

〔10〕 基本的な生活習慣の確立や社会のルール、マナーの指導が適切になされていると思われますか・・・A

昨年度B評価でしたが、今年度はAになりました。〔9〕につながることで、基本的な生活習慣の確立に「自律」は不可欠です。自らを客観視することができる生徒は、周囲との折り合いをつけながらバランス良く成長していきます。マリストという大きな集団の大切な構成員であることの自覚を促し、「自律」の先に「自立」があることを理解させていく指導を今後も続けていきます。

〔11〕 生徒の主体性が伸びていくような取組が充実していると思われますか・・・C

昨年度B評価でしたが、今年度はCになりました。学年によって評価にバラツキがある点が気になるところです。キャリア教育は、学校をあげて推進している本校の中核をなす教育プログラムです。受け身の姿勢から、自ら進んで課題を発見し解決に導いていく、そのプロセスを体験的に学習できるよう工夫を続けていきます。

〔12〕 校内の施設設備は安全で快適なように整えられていると思いますか・・・B

令和4年度以降、計画的に施設設備の改修等の措置を図っています。目に見える箇所の改修にとどまらず、ICT環境の整備等ソフト面にも順次取り組んで参ります。

〔13〕 保護者の皆様が来校される機会（内容・回数）は適切であると思われますか…B

昨年5月8日に新型コロナウイルス感染症の分類が2類から5類に引き下げられたことで、学校行事をはじめとする様々なイベントをコロナ前に戻すことができました。県内で一番早い卒業式を開催できたことは非常に感慨深いです。令和6年度もお子様の学習環境をご覧頂く機会をたくさん設けたいと思います。たくさんの保護者様のご来校をお待ちしています。

〔14〕 保護者の皆様に向けた学校の広報活動は適切であると思いますか…B

学校ホームページの閲覧数が延べ135万件に迫ろうとしています。この一年で15万件近いアクセスがありました。広報部でも毎日更新を目標に、生徒達のトピックを紹介しています。生徒達が楽しく過ごす学校の様子をご覧頂き、ご意見等お寄せ頂ければ幸いです。

【参考：令和4年度評価】

項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
中1	A	A	A	A	A	A	A	B	A	A	A	B	B	B	A
中2	A	A	A	A	A	B	B	A	A	A	A	B	B	A	A
中3	A	A	B	B	B	B	B	B	B	B	A	A	C	B	A
高1	B	C	B	C	C	C	C	B	A	B	C	B	B	C	B
高2	A	B	B	B	B	B	C	B	A	A	C	B	B	B	B
高3	B	B	B	B	B	B	B	C	B	B	C	B	B	B	B
全体	A	B	B	B	B	B	C	B	A	B	B	B	B	B	B